

朗読と映像でつづる
「今、伝えたいこと」 第九回
広島原爆投下から七十年、これからの平和を想う

＊朗読

藤堂 叶倫

「パパママバイバイ」

早乙女 勝元 作



＊ミニ講演

早乙女 勝元

「平和を想う」

「パパママバイバイ」に寄せて



＊朗読

野口 英

原爆詩集より「墓標」

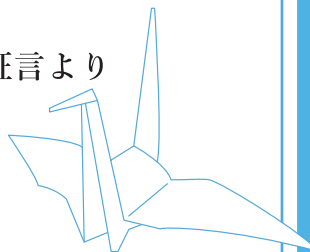
峠 三吉 作



＊映像

故、真実井房子氏による広島被爆証言より
ダイジェスト映像

第1回「今、伝えたいこと」より



＊朗読&映像

賛助出演・有志による朗読

「あの日・・・ヒロシマ・ナガサキ 死と生の証言」より

広島平和記念資料館 提供

原爆 及び 原爆被害映像

※上記は演目順ではございませんので、予めご了承ください。

2015年 8月6日(木) 午後1時開場
午後1時30分開演

入場無料 先着120名までの当日受付

めぐろパーシモンホール 小ホール

目黒区八雲1-1-1 TEL:03-5701-2924 [地図・最寄駅等・裏面参照]

主催:語りと音楽「リリアン」

お問い合わせ:TEL 050-3708-4798

企画・演出:藤堂叶倫

協力:広島平和記念資料館

後援:目黒区 及び 目黒区教育委員会

ご挨拶

この会は、「今、伝えたいこと」というテーマで、私共が選んだ“伝えるべき事実”を「朗読」として共に、映像をはじめ証言、講演、音楽などを加えお届けする公演を行っております。

2000年に発足させて頂き2005年からは順に「広島原爆」「長崎原爆」「沖縄戦」「東京大空襲」「世界の地雷」「ボランティア活動について」「東日本大震災」各テーマで公演を行ってまいりました。

今年2015年は、戦後70年になる年です。第1回「今、伝えたいこと」で広島被爆の貴重な証言をして下さった故、真実井 房子さんの平和への想いを受け継ぎ、今一度、皆様とご一緒に「これからの平和」を考えたく思います。

ボランティアの小さな会ではございますが、一人でも多くの方が他の人に心を寄せることが出来れば、悲しみを持つ人は確実に減ると信じて公演を行っております。

どうか皆様の暖かいお力添えをお願い申し上げます。

語りと音楽「リリアン」代表 藤堂叶倫

早乙女 勝元（さおとめ かつもと） 東京都出身 作家/東京大空襲・戦災資料センター館長

1932年生まれ。12歳で東京大空襲を経験。働きながら文学を志し、18歳の自分史『下町の故郷』が直木賞候補になる。また『ハモニカ工場』『美しい橋』『秘密』などが続々と映画化される。

1970年、「東京大空襲・戦災誌」で菊池寛賞を受賞。1971年ルポルタージュ『東京大空襲』がベストセラーになり、日本ジャーナリスト会議奨励賞を受賞。1992年、「戦争と青春」(今井正監督、工藤夕貴主演)の原作・脚本で、日本アカデミー賞特別賞を受賞。1994年に、映画「ベトナムのダーちゃん」(後藤俊夫監督、古谷一行主演)を、2002年にドキュメンタリー映画「軍隊をすてた国」(山本洋子監督)を完成、ビデオになる。同年、江東区北砂に民立民営の「東京大空襲・戦災資料センター」をオープン、館長に就任。

藤堂 叶倫（とうどう かりん） 東京都出身 朗読家/MC/朗読講師

日本大学芸術学部卒業。在学中よりナレーションやMCなどで活動する。劇団「青俳」養成所にて演劇の基礎を学ぶ。朗読及びナレーションを声優・鈴木弘子氏に師事。現在、朗読家として舞台をはじめパーティーやサロンなどで文学作品や詩、エッセイ等を朗読している。井上靖生誕百年祭にて、井上靖作「漆胡樽」を朗読。国際芸術連盟、妖精堂などをはじめとする主催公演にて「謀りごと」「けいどう」「高瀬舟」「しだれ桜」その他多数の作品を朗読。朗読と音楽とのコラボレーションでは、ベーシスト大坪寛彦、尺八奏者三橋貴風各氏、などの奏者と共演。またコンサートを中心としたイベント司会や勲章受章パーティーなどの司会を行っている。藤堂叶倫朗読教室主宰。国際芸術連盟朗読オーデション審査員。

野口 英（のぐち えい） 神奈川県出身 語り手

1959年、「京浜協同劇団」設立に参加。その後「青年演劇人共同体アトムの会」創立。

1981年、横浜中村川に浮かぶ木造船を拠点にした「横浜ボートシアター」設立に参加。現在、フリー。

めぐろパーシモンホール 小ホール

目黒区八雲1-1-1 TEL:03-5701-2924

●東急東横線
都立大学駅徒歩7分

●バス

[渋 34]渋谷駅～東京医療センター
[黒 07]目黒駅～弦巻営業所
[多摩01]多摩川駅～東京医療センター
[都立01]都立大学駅北口～成城学園前駅
「めぐろ区民キャンパス」下車すぐ

※駐車場の台数が非常に少ないため、公共交通機関をご利用ください。

